

# 2022年度シーズン開幕！

カタール W 杯に向けてサッカー界が盛り上がる事を期待して！

== ハーフタイム ==  
東京 F A 審判委員会  
第 5 8 号 (2022 年 6 月)

1. グラスルーツへの取り組み
2. 2022年度開幕前研修会レポート
3. 昇級挨拶 サッカー女子1級・サッカー2級・フットサル2級
4. 勇退挨拶 サッカー2級・フットサル2級
5. 2021年度「女性限定 サッカー3級審判員資格認定 特別プログラム」の開催

## ■ グラスルーツへの取り組み

(審判統括部会 グラスルーツパート 加藤寛之)

審判委員会では、東京で行われている多くのグラスルーツの試合を支えてくださっている審判員の皆様への取り組みをスタートしました。その様子をお伝えします。

「東京で行われる全てのサッカーゲームが安全で、楽しく、魅力あるものになるように」

2016年に審判委員会の組織改編が行われて以降、審判統括部会のグラスルーツパートで掲げるスローガンです。

東京都内では東京都サッカー協会からの審判割当を受けずに区市や連盟の中で活動する4級審判員、ノンアクティブ3級審判員が22,000人強に上ります。それらの人にどのようにアプローチし実になる指導を行うか。そしてそれらの審判員を指導するインストラクターとどのように連携できるか。日々「手探り」の状態ではありますが、できる限りのサポートを行うとともに、共に悩み成長し、伴走していけるような体制を整えて行きたいと考えています。

その取り組みの一環として、2021年12月に駒沢第2球技場、2022年3月に赤羽スポーツの森にて、それぞれ「グラスルーツトレセン」を実施しました。このトレセンではコロナ禍による制約のためオンラインの資格取得講習会に参加し、実技指導を受けることができなかった新4級審判員へのフォローを目的としたプログラムを取り入れ、既に資格を保持している審判員も基礎・基本を見直す機会とし「失敗を恐れずにチャレンジし、審判の楽しさを再発見してもらえる場」となることを目指しました。また、グラスルーツパートから依頼したインストラクターにトレーニングメニューを考案し、指導を実践する「研鑽を積む場」ともしており、グラスルーツパートと連携し当日の運営はもちろん、事前の準備、打ち合わせも複数回に渡り入念に行っています。

当日参加された方からの感想（抜粋）を紹介させていただきますが、コロナ禍ということもあり2年振りの開催となりましたグラスルーツトレセン、実施に際しては様々な葛藤もありましたが、前向きなコメントをいただきました。今回のグラスルーツトレセンも申し込み初日に定員が埋まるなど、受講者にとってのニーズは非常に高いものになりつつありますが、開催場所によっては参加したくても参加できない審判員、インストラクターも少なからず居ると思われま。会場との兼ね合いなどもあり、また参加者も多岐に渡るため、寄せられる全ての要望に応えられるような開催、トレーニングメニューの考案は難しいことも事実ですが、より多くの人が参加し、研鑽を積み、審判に対する理解を深め、冒頭のスローガンを実現するための一助となるように、「小さな積み重ね」と「繋がり」を大切にこれからも取り組んでいきたいと思ひます。



副審トレーニングの様子

当日参加された方からの感想（抜粋）

- まん延防止期間でなかなか対面での講義を開催できない状況だったと思いますが、子どもとボールを蹴るくらいしかしていない初心者の私としては副審の実技講習を受けることが出来てとても有意義な時間になりました。
- 講師の方が終始「実技講習は失敗する場なのでどんどん失敗してください」と言ってくださったのと、実技の参加者は皆、積極的に質問や実技を楽しまれていたので、臆すること無く講習を終えられました。
- 例えミスをしたとしても、審判が不安な態度を取っていると選手にも不安を与えてしまうので、教えていただいた『失敗しても堂々としておく』ということ思い出し、試合に挑んでみようと思ひます。
- 映像を見たり、イラストでイメージしたよりも、実際にフラッグを持ってみると、思ったより腕が上がっていなかったり、音がバシッと鳴らなかったり難しかったのですがとても楽しかったです！！

- この度は実技講習ありがとうございました。お天気にも恵まれ、とても有意義な時間を過ごせました。審判やルール知識を得た事で、プレイヤーとしても成長出来そうな気がします!!お忙しい中、またコロナ禍でも工夫して実技講習会を開催してくださり感謝申し上げます。
- 普段審判のスキルアップをする場が実践以外ないため、こうしたトレセンはとても貴重な場であると思います。私もそうですが、多くの少年サッカー指導者が審判も兼任しており、理想の審判についてはそれぞれが悩みながら、周囲の人に相談し合いながら試行錯誤しているのが実態であると思います。



## ■ 2022 年度開幕前研修会レポート (サッカー2級審判員:上原 良寛氏)



3月30日(水)20時よりWEB会議システム「ZOOM」で開催いただきました、2022年S2級開幕前研修会に参加させていただきました。

2022シーズンに向けて今回の研修では、ハンドリング・オフサイドを中心に、事象映像を用いながら、判定と解釈の確認をいたしました。また、関東サッカー協会審判委員会の改組の説明、東京都サッカー協会審判委員会としてスケジュールの説明をしていただきました。

コロナ禍により対面での研修会とはなりませんでしたが、審判員として「美しい試合」を目指すなかで、よりよい準備ができました。

私自身、いろいろな試合を経験させていただいておりますが、今以上に努力を怠らずトレーニングし、少しでも上を目指し、今シーズンが無事に終われるように活動していきたいとおもいます。

引き続きご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

## ■ 昇級挨拶

〈 女子1級 吉田 瑞希氏 〉

女子サッカー界が大きく前進したWEリーグ創設初年度の記念すべき年度に女子1級審判員が誕生しました!喜びの声をお届けします。



2022年シーズンより女子1級審判員として活動させて頂くことになりました。この場をお借りし、これまで関わって頂いた皆様に心からお礼申し上げます。女子1級審査に合格できたのは、たくさんのサポート、ご指導があったからであり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。特に東京の皆様には、審判を始めたばかりの頃から、サッカーについて何も知らない私に、一からたくさんのことを教えて頂きました。昇級のご報告に対しておめでとうと一緒に喜んで頂けたことは本当に嬉しかったです。

新しい舞台にチャレンジする中でも、関わる全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに、目の前のひとつひとつの試合を大切に、そこに全てをかける選手たちが輝ける場所を提供

できるような審判員になれたらと考えています。

コロナ禍で、思うような活動ができない日が続いていますが、またいつか、東京の仲間みんなが集まって活動ができる日が訪れることを祈っています。

## ■ 昇級挨拶

### 〈 サッカー2級 〉

2021年度秋の関東2級昇級審査が行われ、新たに8名のサッカー2級審判員が誕生しました。昇級されました審判員の、喜びの声をお届けします。



(江野本 裕二氏)

この度、2021年度秋に昇級させて頂きました江野本裕二と申します。苦節12年、東京都協会を初め、多くの皆様のおかげで今回の機会を頂くことができました。お礼申し上げます。

私にとってサッカー審判の魅力は、いいプレーを一番近くで見ることができること、そして審判活動を通じて“人間性”を磨けると感じることです。審判での失敗はそこに至る自分の過程に原因があり、たまたま弱いところが露呈しただけだと思っています。

日々のトレーニングは言うまでもなく、社会人としての行いをより良くしていくことも通じてよりよい審判を目指します。気力と体力の続く限り、皆様からの御恩に報いるためにも頑張ります。今後ともよろしく申し上げます。



(遠藤 勇紀氏)

この度、2021年度秋に昇級しました遠藤勇紀と申します。

審判員として一つの節目を迎えることができましたのは、東京都サッカー協会の皆様をはじめ、フィールドで共にした皆様のお陰です。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

初心や目標を大切に「全ては選手の為」に自分らしくフィールドを駆け回ってまいります。

至らぬ点や、未熟な点が多い私ではございますが、成長のため精進してまいりますので引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



(小川 顕康氏)

この度、2級審判員として活動することとなりました、小川顕康と申します。10年ほど前まではサッカーのことを全く知らなかった自分が2級に昇級できたのも、たくさんの方に指導していただいたことや、審判員という立場でサッカーに携わることでのやりがいと、その楽しさを教えてくれた多くの方々のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。

今までは、教わる立場でしたが、今度は見られる立場として気を引き締めて、また、変わらず指導してくれる方々へのリスペクトを忘れずに日々の審判活動を楽しみながら、さらなる成長を目指したいと思います。



(加茂 靖子氏)

2021年度秋に2級審判員に昇級させていただきました加茂靖子です。趣味のサッカー観戦が興じて、軽い気持ちで4級を取得したのがきっかけでしたが、目の前の試合に全力で取り組む審判員の皆様の姿がいつしか憧れから目標に変わりました。

これまで女子審判員サポートプログラムをはじめとしたさまざまな講習会や試合会場などで、懇切丁寧に指導して下さったインストラクターおよび先輩審判員の皆様、そしてピッチ上でともに汗を流したすべての審判員の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

まだまだ経験も浅い未熟者ですが、体力の続く限り審判技術の向上に努めてまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い致します。



(川上 雅己氏)

この度、2021年度秋に昇級させていただきました、川上雅己と申します。

昇級にあたりましては、多くの皆さまのサポートやアドバイスをいただきましたお陰だと感謝しております。本当にありがとうございました。

「最高の試合」にかかわることが出来るように努力を続け、2級審判員として技術スキルの向上はもちろんのこと、2級審判員として相応しい人として成長出来るように取り組んでいきます。

これからもたくさんの方のことを学びたいと思っておりますので、引き続き皆様のご指導並びにご支援いただけます様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



(栗原 清人氏)

この度、サッカー2級審判員に昇級させていただきました栗原清人と申します。新型コロナウイルス感染症による状況下、昇級審査開催のためにご尽力頂いた関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

また、これまでご指導いただいたアセッサーの皆様、協会の皆様、そして審判仲間の皆様に感謝します。

2級審判員として自覚を持ち、魅力あるサッカーのサポートができるよう、サッカーに関わる喜びを忘れずに精進しようと思えます。

引き続きご指導くださいますようお願いいたします。



(佐藤 義幸氏)

この度、2021年度秋に昇級させて頂きました、佐藤義幸です。

昇級に際し、高体連の先生方をはじめ、多くの方々からご指導、ご鞭撻を賜りました。この場をお借りして感謝申し上げます。

教員という仕事柄、“大会運営の一助に”と渋々始めた審判活動でしたが、活動をする中で、審判としてサッカーに関わることの責任、面白さを感じるようになりました。

これまでと変わることなく目の前の試合に対して真摯に臨み、サッカーの魅力を最大限引き出すことができるように精進していきたいです。

引き続き、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



(藤井 繁見氏)

2021年度秋にサッカー2級審判員に昇級いたしました藤井繁見です。このようなチャンスを頂き昇級できたことをとても嬉しく思っています。お力添えを頂いた東京都サッカー協会審判委員会の皆さま、ご指導頂いたインストラクターの皆さま、切磋琢磨してきた審判仲間、そして家族や職場の皆さまに改めて感謝しております。これからもサッカーを通じてたくさんの人が笑顔になれるように、選手・チームをはじめサッカーに関わる全ての皆さまへの感謝を忘れず、喜びを感じながら目の前の1試合1試合を大切に、向上心を持って審判活動に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

## ■ 昇級挨拶

### 〈 フットサル2級 〉

2021年度秋の関東2級昇級審査が行われ、新たに3名のフットサル2級審判員が誕生しました。昇級されました審判員の、喜びの声をお届けします。



(島村 剛氏)

2021年秋の昇級審査においてフットサル2級審判員に昇級いたしました島村剛と申します。2級昇級にあたりフットサル部会の皆さま、インストラクターの皆さま、日頃からご指導して下さる諸先輩方、同世代の皆さま、フットサルに関わるすべての皆さま、そして私の審判活動に理解をしてくれている家族に感謝を申し上げます。

私は、息子が所属していた小学生のサッカーチームのコーチに勧められてサッカーの審判活動を開始し、その後フットサル審判員のトレセンに参加したことがきっかけでフットサルのアクティブ審判員となりました。もうすぐ50歳になりますが、これからも日々精進して審判活動を通じてフットサルの発展に力を尽くし、また、私の経験を後輩に継承していければと思っております。これからもご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



(富田 樹子氏)

この度、2級に昇級させて頂きました富田樹子と申します。所属する東京都協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

私は、年齢もあり、昇級チャレンジするには、努力せねばならない事がたくさんございました。挫けそうになると声を掛けてくださる上級審判員の方々、気にかけてくださる現場を共に出来る皆様の存在が無ければ、今の私はないと思っています。

これがゴールと思わず、謙虚に少しでも上を目指し、頑張っていきたいと存じます。よろしくお願い致します。



(藤巻 裕信氏)

この度、フットサル2級に昇級いたしました、藤巻裕信と申します。  
サッカー審判員からのスライドでスタートしたフットサルの審判活動ですが、フットサル部会の皆様を始め、現場でフットサル審判としての基礎を教えていただいた諸先輩方に、改めて御礼申し上げます。

ほんの数秒でゴールが決まるスピーディな展開や二人が笛を持つところなど、サッカーの審判と違い、素早い判断や審判員同士の連携が、フットサル審判員としてより大切であると感じています。

今後も、選手やチームの皆さんとともに素晴らしい試合を創りあげていけるよう、私自身も引き続き努力をして参りたいと思います。

## ■ 勇退挨拶

### 〈 サッカー2級 谷合 澄夫氏 〉

サッカー2級審判員として現役を走り続けてくださった谷合審判員が、2021年度をもってサッカー2級審判員を勇退されました。長年の審判活動どうもお疲れ様でした。勇退に際しご挨拶をいただきました。



2021年度をもちまして、S2級審判を退かせていただくことになりました。

審判委員会の皆様をはじめ、指導者の方々、諸先輩、多くの仲間の支えがあり20年以上にわたり審判活動を続けることができました。あらためて皆様に感謝を申し上げます。また、週末はいつも不在で迷惑をかけた家族にも感謝の気持ちを伝えたいと思います。

正直なところ、もう少し続けたかったのですが……。

健康診断で心電図に異常がみられ、精密検査の結果、医師より心拍が激しく上下する運動は禁止とされてしまいました。無自覚、無症状でありましたが、重篤な病に侵される危険性もあるとのことで、誠に残念ではありますが審判活動を退かせていただきます。

私のような事例もありますので、ご自身の健康、体調を決して過信せずに十分留意して審判活動をおこなってください。審判員皆様のご活躍を陰ながら応援させていただきます。

長い間、お世話になりました。本当にありがとうございました。

### 〈 フットサル2級 山中 正男氏 〉

サッカー、フットサル共に2級審判員としてご活躍されていた山中審判員が、2021年度をもってフットサル2級審判員を勇退されました。今後はインストラクターとしての益々のご活躍を期待します。勇退に際しご挨拶をいただきました。



この度、2021年度をもちまして、フットサル2級審判員としての活動を終了させていただくことといたしました。

思えば、フットサル創成期から長きに渡り活動させていただき、先輩諸氏からのご指導を賜りながらもご迷惑をお掛けすることばかりでしたことを此処に深くお詫び申し上げます。

唯一の心残りは、フットサル1級審判制度がもう10年早く制定され、チャレンジする機会があり、日本のトップのフットサルを経験してみたかったなあ、との思いもあります。

今後は、フットサル審判インストラクターとしてフットサル審判の育成、指導活動を継続していく所存ですので、また、皆様とピッチでお会い出来ることを楽しみにしております。フットサルに係るすべての方々に感謝し、益々、フットサルが盛んになることを祈念して、活動終了のご挨拶とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。

## ■ 2021年度「女性限定 サッカー3級審判員資格認定 特別プログラム」の開催

(審判統括部会 女子パート 渡邊晶子)

本プログラムは東京都サッカー協会審判委員会として初の試みであり、日本の女子サッカーの更なる発展のため、日本サッカー協会及び関東サッカー協会からの要請を受け、女性サッカー競技経験者や、サッカーをより深く学び関りたい方の中からより多くの「女性審判員」を東京都から輩出することを目的として、2021年10月に開講しました。

第一段階として、「①応募者の書類選考」、「②実技講習会」、「③座学講習会（オンライン）」において規定の講習会修了条件を満たす方が、第二段階として、2022年3月に東京都サッカー協会が主催の「サッカー3級審判員認定審査」の受験資格が得られるまでの「プロセス」を、包括的にサポートすることをターゲットとしています。普段なかなか審判活動の実績を積めない4級審判員の方には、短期集中的にサッカー3級資格合格への道筋を明るく照らす、まさに「特別プログラム」であります。応募した受講生「27名」の面々は、お子様の所属するチームに帯同審判員として携わる中で昇級を目指される方や、社会人クラブチームのマネージャーを務める傍らより深いサッカーの知識を得たいという高い意識を持つ方、現役女子高生サッカー部員、フットサル審判資格ホルダーで且つサッカー審判員の資格もレベルアップを目指す方など、環境や目的、年齢層も幅広い方々が、約半年に及ぶプログラムを共に楽しく学んで参りました。



コロナ禍での開催とあり、全ての座学講習会と、一部の実技講習会はオンライン開催となりましたが、「女子サッカーの歴史」に始まり、「先輩アクティブ女子審判員の経験や失敗談」、「サッカー3級審判員としての行動や心得」、「審判報告書の書き方」、「3級昇級認定審査直前競技規則テスト対策」など、毎回パソコン画面越しに窺える受講生の真剣な眼差しからも、学びに対する熱い意欲が伝わる充実したカリキュラムでした。

また実技講習会では、例年開催されている「女性審判員育成サポートプログラム」と並行開催として、駒沢公園各競技場で行われる「女性審判員育成トレーニングセンター」の実技トレーニングに参加して頂き、「審判員に必要なフィジカルトレーニング」、「笛の吹き方」、「フラッグテクニック」、「オフサイドの判定」、「ファウルが起こる状況と判定のポイント」、「ミニゲームにおける審判の実践」など、楽しく、そして真剣に取り組めるメニュー構成でした。情勢と状況を鑑み、実技講習会の一環として実際の女子サッカー大会での審判実践研修の開催は叶わなかったことは残念でした。

そして毎回アンケートを実施し、参加者の声から「ファウルが取れない」、「オフサイドがわからない」、「主審として試合をどう進めて行けば良いのか？」等の疑問にもアプローチできるよう、指導する側もアンケートに対する丁寧な回答や、次回プログラムに改善メニューを反映するなど、試行錯誤を重ねて参りましたが、審判委員会の各部門のご協力もあり、この度、晴れて参加者「全員合格」という素晴らしい実績が、受講生はもちろん、関わる全ての方々の努力が実を結ぶ結果となり、今後の東京都における女性審判員の発掘・育成に繋げられるモデルケースになれたと実感致しました。

この特別プログラムは2022年度にも「第二期」として開催を予定しており、例えば「J.WEリーグ」や「女子ワールドカップ」へのステップアップとするもよし、または、サッカー審判活動を通じてパーソナリティーを向上することにより、強く美しい女性が躍進するきっかけとなる「第一歩」となることを期待しています。



## ■ 編集後記

前回のハーフタイム第57号に寄稿してくださりました、サッカー国際審判員の山下良美氏が11月から開幕予定のカタールワールドカップに、女性審判員として初のワールドカップ審判員に選出されました。おめでとうございます！

日本代表の応援だけでなく、山下審判員の活躍にも注目してワールドカップを楽しみたいと思います！